

県民 1 人 1 日当たり食品ロス量の目標値について

○ 目標値算定の考え方

(1) 国の目標（第 2 次食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針）

2000 年度比で 2030 年度までに

事業系食品ロスは、60%減【新規】 ←あと 17 万トン削減

家庭系食品ロスは、50%減【継続】 ←あと 20 万トン削減

(2) 県の目標設定の考え方

国の基本方針と同様の削減率を目指すこととするが、本県では 2000 年度の食品ロス量データが存在しないため、県実態調査に基づく 2022 年度値を起点として設定する。

国の削減目標に基づく試算では、2022 年度から 2030 年度までに

・事業系：現状値の 93%の水準まで抑制

・家庭系：現状値の 92%の水準まで抑制

が必要となる。

(3) 具体的な目標値（2030 年度）

① 事業系食品ロス

2022 年度：35g/人・日 → 2030 年度：32g/人・日（3g 削減、約 7.2%減）

② 家庭系食品ロス

2022 年度：50g/人・日 → 2030 年度：46g/人・日（4g 削減、約 8.5%減）

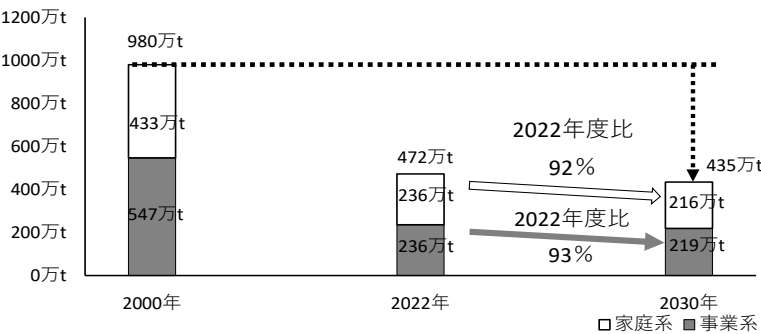
③ 合計目標値

2030 年度までに県民 1 人 1 日当たり 78g/人・日

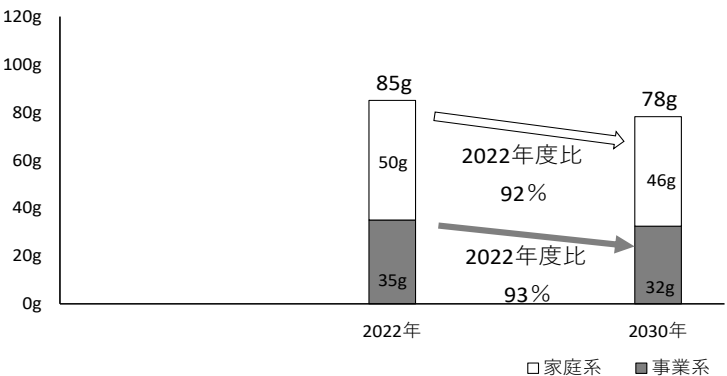
（事業系 32g/人・日 + 家庭系 46g/人・日）

上記を踏まえ、78g/人・日を本計画の 2030 年度の目標値としたい。

国 食品ロス量



富山県 1 人 1 日当たり食品ロス量



<事業系>

県の 2030 年度 目標値	=	県の 2022 年度 実績	×	全国の 2022 年度実績に対する 2030 年度目標値
32g	≒	35g	×	$\frac{\text{全国目標値(2030 年度まで)219 万 t}}{\text{全国食品ロス量(2022 年度)236 万 t}}$

<家庭系>

県の 2030 年度 目標値	=	県の 2022 年度 実績	×	全国の 2022 年度実績に対する 2030 年度目標値
46g	≒	50g	×	$\frac{\text{全国目標値(2030 年度まで)216 万 t}}{\text{全国食品ロス量(2022 年度)236 万 t}}$

<富山県目標値>

78g = 事業系 32g + 家庭系 46g

(参考)

1 国の状況

2022 年度に 2000 年度比 50%削減という目標を 8 年前倒しで達成。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響が残っている可能性や、経済成長・インバウンドの拡大等を想定し、更なる削減の取組みが不可欠。

事業系：「食品循環資源の再生利用等の促進に関する基本方針」（R7.3 公布）において、2000 年度比で 2030 年度までに 60%削減。

家庭系：「第四次循環型社会形成推進基本計画」（H30.6 閣議決定）において、2000 年度比で 2030 年度までに 50%削減。

項目	2000 年 (基準年)	2016 年	2022 年	2030 年 (目標年)	削減率 (2022→2030)	削減率 (2000→2030)
家庭系食品ロス量	433 万 t	291 万 t	236 万 t	216 万 t	▲8.5%	▲50%
一人一日あたり	93g ^{※1}	63g ^{※1}	52g ^{※1}	49g ^{※2}		
事業系食品ロス量	547 万 t	352 万 t	236 万 t	219 万 t	▲7.2%	▲60%
一人一日あたり	118g ^{※1}	76g ^{※1}	52g ^{※1}	50g ^{※2}		
合計	980 万 t	643 万 t	472 万 t	435 万 t	▲7.8%	▲57%
一人一日あたり	212g ^{※1}	139g ^{※1}	103g	99g ^{※2}		

※1 2000 年、2016 年、2022 年の家庭系・事業系 1 人 1 日当たり食品ロス量は総務省人口推計（各年 10 月 1 日現在）から県で試算

※2 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和 5 年度推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果（120,115,780 人）で試算

2 県の状況

項目	2000 年	2016 年	2022 年	2030 年
家庭系食品ロス量	－	2.7 万 t	1.9 万 t	
一人一日あたり	－	69g	50g	46g
事業系食品ロス量	－	1.6 万 t	1.3 万 t	－
一人一日あたり	－	41g	35g	32g
合計	－	4.3 万 t	3.2 万 t	－
一人一日あたり	－	110g	85g	78g